

2020 若松・避難訓練アンケートの集計

提出数:計226件 (WEB 132件、紙 94件)

我孫子市若松第一・第二自治会 世帯数は約900

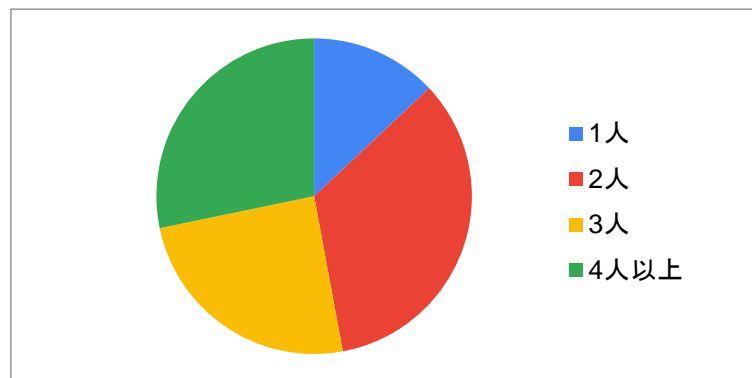
2020年11月実施

2020.12.6作成

1 居住人数は？

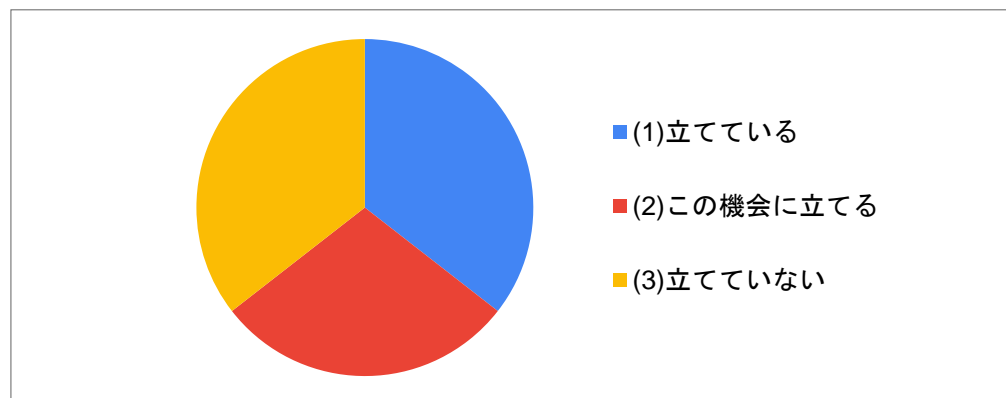
	回答数	%
1人	29	13.0%
2人	76	34.1%
3人	55	24.7%
4人以上	63	28.3%
計	223	100.0%

無回答は含まず



2 避難の行動計画を立てていますか？

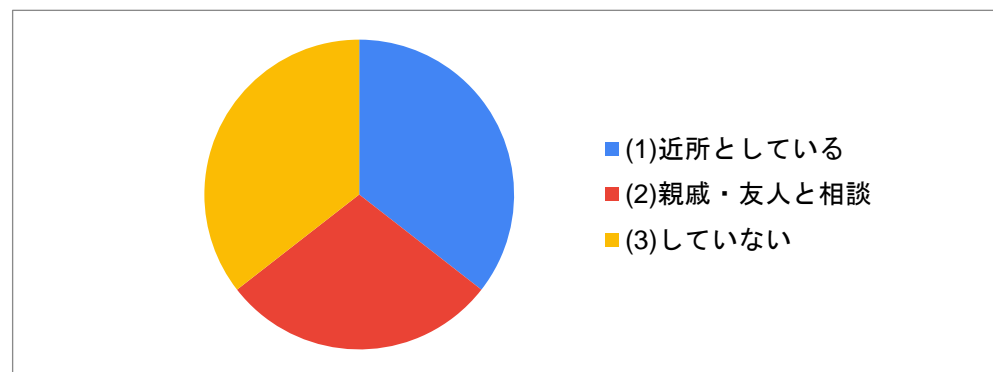
	回答数	%
(1)立てている	81	35.5%
(2)この機会に立てる	66	28.9%
(3)立てていない	81	35.5%
計	228	100.0%



3 避難について相談していますか？

	回答数	%
(1)近所としている	81	35.5%
(2)親戚・友人と相談	66	28.9%
(3)していない	81	35.5%
計	228	100.0%

(2)には「家族で」のコメントを含む

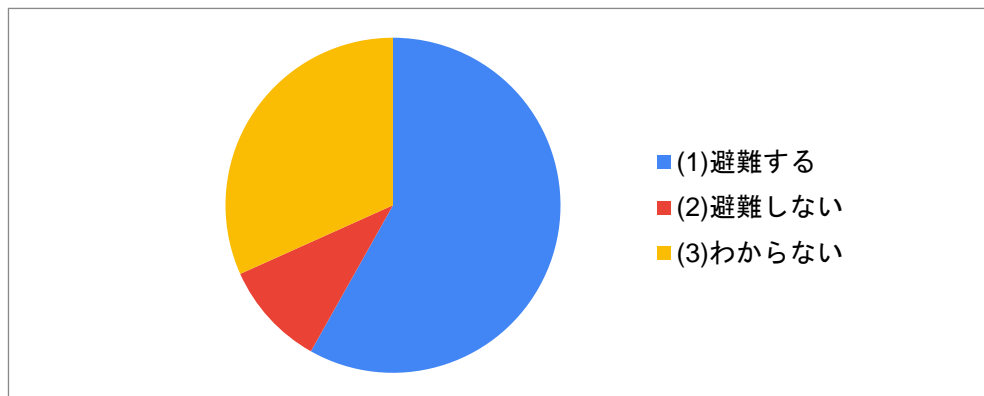


4A 風水害の避難勧告が発令された場合

	回答数	%
(1)避難する	132	58.1%
(2)避難しない	23	10.1%
(3)わからない	72	31.7%
計	227	100.0%

【コメント】

- ・状況次第。・時間帯による。
- ・警戒レベル 3 以上の場合避難。
- ・自宅内かアビスタへ、高台への徒歩の移動は困難。 ・発令前に行動する又は行動しない。
- ・自宅避難を基本としている。・自宅が安全。・自宅の 2 階又は屋根等高い所へ避難。
- ・指定場所・安全な場所へ。・避難所に犬を連れていけるかが判断の材料。・ハザードマップで問題なさそうだ。
- ・避難勧告がいつ出されたのか分かりにくい。・同じ海拔のアビスタへの避難では心配。
- ・第一小学校まで避難する方が危険。・若松は低い立地なので、いち早く水害情報は流してもらいたい。

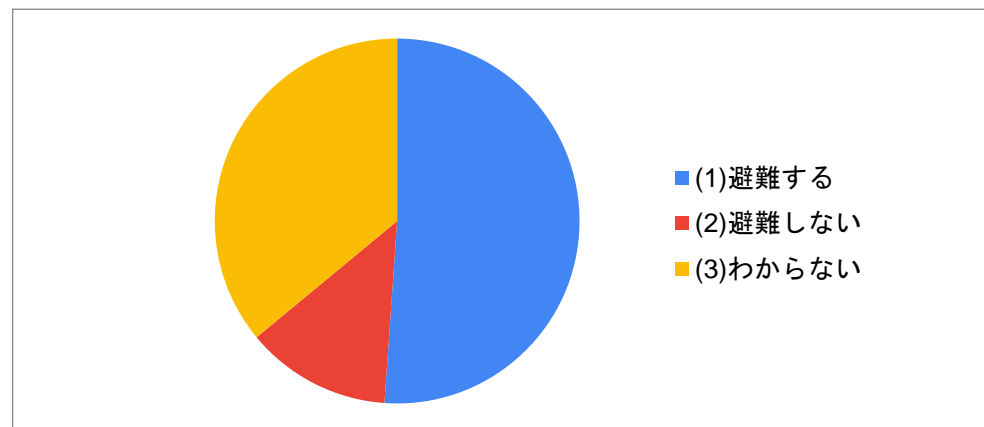


4C 地震で避難勧告が発令された場合

	回答数	%
(1)避難する	115	51.1%
(2)避難しない	29	12.9%
(3)わからない	81	36.0%
計	225	100.0%

【コメント】

- ・状況次第。・自分で判断する。
- ・指定場所へ行く。・家屋が無事なら避難しない。
- ・震度5以上の場合避難。自宅避難を基本としている。・ヘルメットかぶる非常用のリュックを背負って逃げます。
- ・家がつぶれない限り家にいる。・倒壊の程度による。
- ・大勢の中に入るのが苦手。・家が古いから。
- ・自宅内か近隣空地かアビスタへ。・ペットを連れていけるかで判断する。
- ・地震が予知できていないのに避難勧告が出るのか？発生後に避難勧告が出ることはあるか。



5A 安否確認への協力

	WEB	紙	計	%
(1)協力できる	81	48	129	57.6%
(2)むずかしい	51	44	95	42.4%
計	132	92	224	100.0%

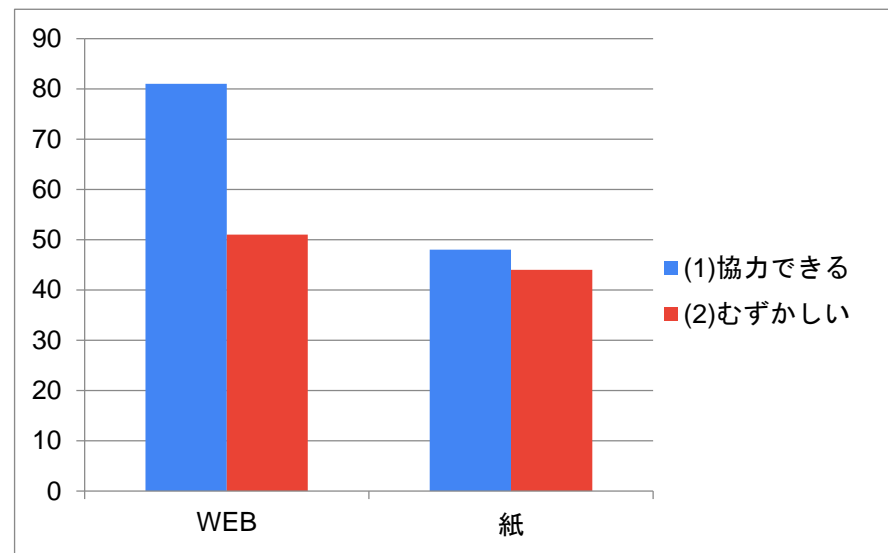
【協力できる人のコメント】

- ・できる範囲内で協力。・近所の方の様子が心配と気づいたら知らせる。
- ・自分が元気で体力があるうちは協力できる。
- ・共に助け合うことは重要。・その時の状況で協力できる。
- ・前回の地震の時もご近所の一人暮らしの方にお声をかけました。
- ・近所の知り合いについては安否確認します。

【むずかしい人のコメント】

- ・自宅のことでいっぱい。・子どもの迎えが優先。・子どもが小さいため。
- ・高齢のため。・ひとり親世帯の為、自分の事で精一杯になりそう。・健康上むずかしい。・会社事務所のため。
- ・声かけ位は手伝える。・協力できていると思うが、その時の状態によっては難しい。・高齢で自分のことでいっぱい。
- ・要介護者を抱えているので、申し訳ないですがそちらが優先です。・日頃あまり付き合いがない。
- ・高齢の両親と子どもたちだけでいっぱいになると思う。・協力したいが、確約はできない。

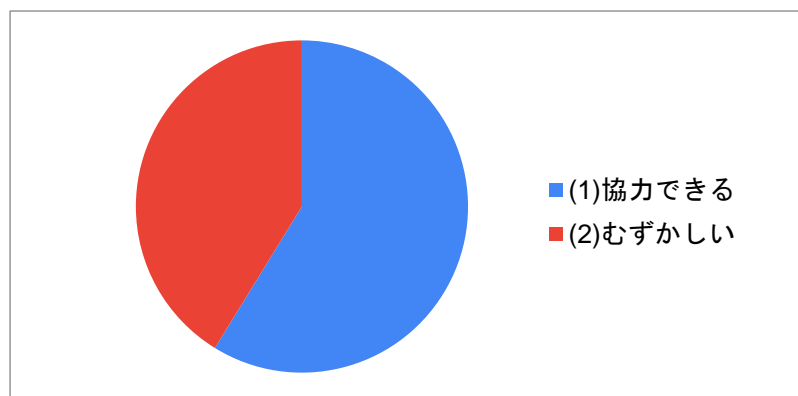
【注】紙の回答では、ほぼ同数だが、WEB回答では6割超が「協力できる」。現役世代にWEB回答が多いことが一因か。



5C 炊き出しへの協力

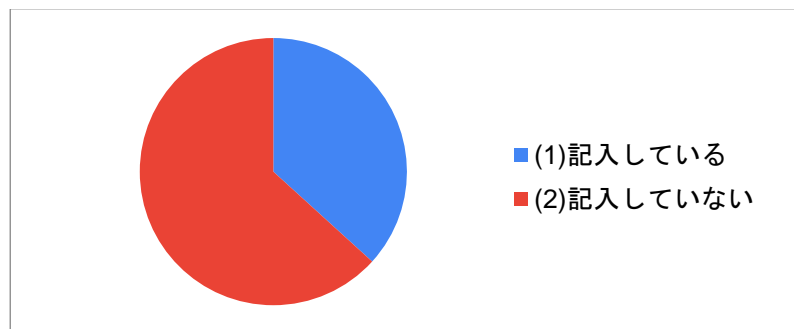
	回答数	%
(1)協力できる	77	58.8%
(2)むずかしい	54	41.2%
計	131	100.0%

※この設問は紙のアンケートに無く、WEB回答のみ。
コメント欄は設定せず



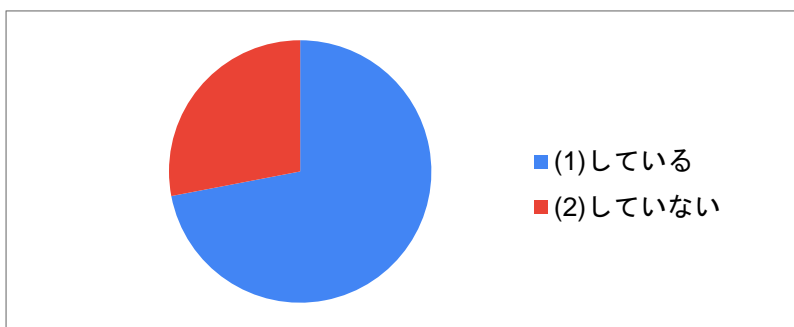
6A 若松地区防災防犯行動マニュアルへの記入

	回答数	%
(1)記入している	79	36.7%
(2)記入していない	136	63.3%
計	215	100.0%



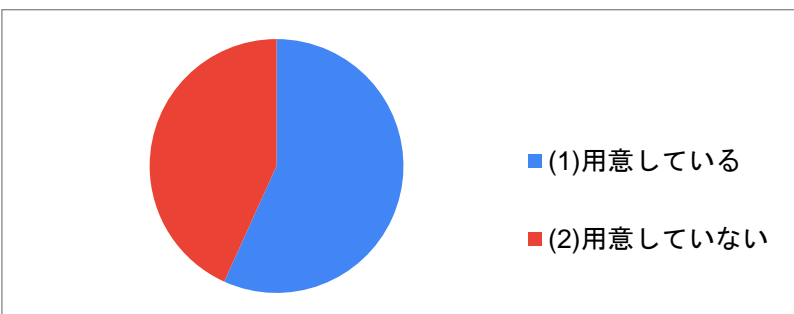
6B 家屋の点検

	回答数	%
(1)している	162	72.0%
(2)していない	63	28.0%
計	225	100.0%



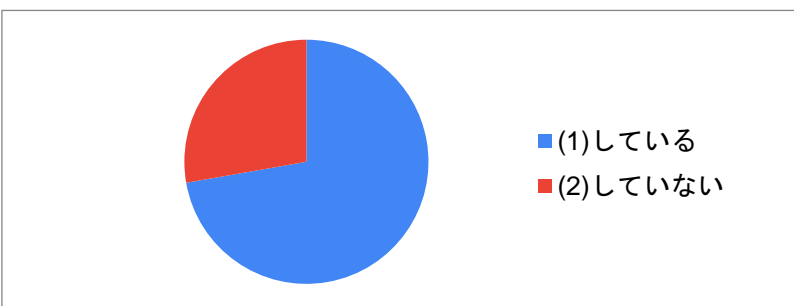
6C 非常用持ち出し袋

	回答数	%
(1)用意している	130	56.8%
(2)用意していない	99	43.2%
計	229	100.0%



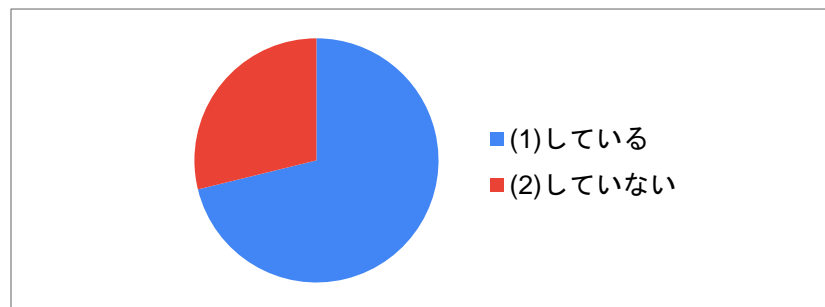
6D 備蓄

	回答数	%
(1)している	164	72.2%
(2)していない	63	27.8%
計	227	100.0%



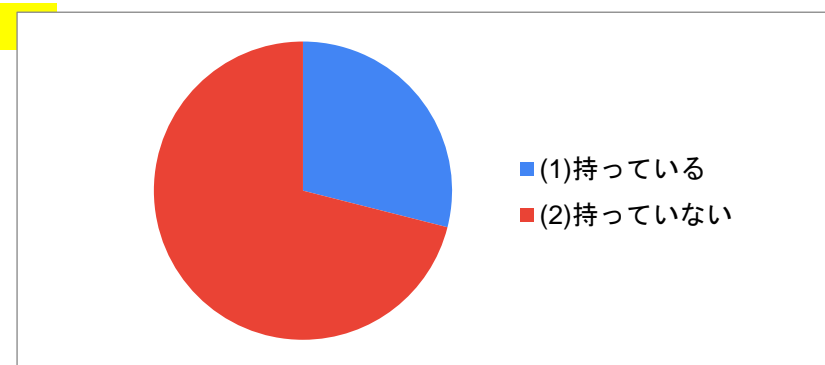
6E 停電時の備え

	回答数	%
(1)している	163	71.2%
(2)していない	66	28.8%
計	229	100.0%



6F 市の社会福祉協議会が発行している「あんしんカード」

	回答数	%
(1)持っている	66	28.9%
(2)持っていない	162	71.1%
計	228	100.0%



【6A～Eのコメント】

- ・水と食べ物の自給には気を付けています。
- ・備蓄や非常用袋は途中までで完成していない
- ・こんなことをして意味が有るのか疑問です。
- ・老齡故に限界あり
- ・安心カードををどこにしまったか忘れた
- ・自助としての点検や備えは、とりあえず、という形でしか取り組んでおりませんので、これを機にしっかりしたいと思いました。

7 2011年の東日本大地震や昨年の大雨の時に困った経験

- ・市の防災放送が聞き取れなかった。
- ・地震のとき壁にひびが入った。
- ・トイレが使用不可で困った。
- ・自分の身の振り方が精一杯で他人の事に気がまわりません。
- ・情報が正確なのかどうか判断するのが難しい。
- ・電池、ガソリン、一部食料の不足。
- ・地震時の水の確保。
- ・公共交通機関が運行ストップとなったこと。
- ・地震時、電話が不通になったこと。
- ・地震時、食料、日常生活用品がとどこおる 事があった。
- ・家がゆれて怖かったため、道に飛び出した。
- ・身近な携帯等で状況を細かく知らせしてほしい。防災無線は聞こえない。高齢者に 分かり易い伝達方法をお願いします。
- ・アビスタの近くで安心している。
- ・ホットスポットの対応。東京電力経営者の責任問題。手賀沼の工事のお粗末。病院との関係。
- ・訓練していても、いざとなったら ... ? と思います。自分ではできないなあ
- ・防災無線放送は、役に立たない
- ・「我孫子市に避難勧告発出」とテレビで知らされたがネットで調べたら布施方面が対象だった。確かに布施も我孫子だが、もっと正確な勧告の出し方をお願いしたい。

家族と携帯での連絡は取りづらかった

自宅にいました。避難するべきかどうか判らなくて困った。

子供が小さかったので、オムツやミルクが足りるか不安でした。ガソリンも給油出来るのか心配でした。

大地震の時は帰宅が出来ず、ペットが被害を受けました。

防災無線が聞こえなかった

災害放送が聞きにくい

避難場所が分かりにくい、どこが避難場所として実際に避難できるのかわからなかった。河川の状況も細かいことが把握できなかった。

家族全員違う場所にいたが、なかなか電話が繋がらず安否確認に時間がかかった。

小さな子どもがいての2人での急な避難だったのでオムツや荷物を持っての移動が大変でした。

手賀沼が目の前なのでネットで手が川の状況を確認していたが、どの水位が1番関係するのか不明確だった

大雨での避難先は若松エリアはアビスタなのだが、高台ではないし意味がないように感じた。最悪の場合どこに避難していいのか迷いそう。

台風が接近した時、アビスタに避難したかったが母がどうしても行かないと言うので私たち世帯だけでは申し訳なくて一緒に家にいた。どうせ先もないしと言わず若い人のためにも一緒に逃げてほしい

防災無線が聞こえにくかった。

震災時、外出中の家族と夕方まで連絡が取れなかった。

勤務先から自宅まで当日帰れなかった。

出勤時の災害で移動が出来なかった。

外出していて、帰宅が困難であった。

ガソリンが買いづらくなったこと。

いざという時には、自助が大切ということ

災害対策用の食品、水等の備蓄は必要と感じた。

破損箇所を自身で修復

介助が必要な高齢者がいるので避難が困難に感じた

道路の一部が液状化などありましたが生活に困るほどの問題はありませんでした。

去年の台風の影響で、屋根が壊れました。

昨年の大雨では、情報が欲しいと我孫子市役所のホームページを見ていたが、全く機能していなかったと記憶している。隣の柏市のホームページは状況に応じて情報が更新されており、自治体の対応の差があった。

災害の正確な状況や避難の要否などが把握しにくい不安な状態でありました。

一番近い我孫子高校に避難できると望ましい。

水道管が外れたらしく断水してトイレなど困った

都内にいた為、家族と連絡が取るのが時間がかかった。帰宅までの交通手段が難しかった。

ありません。市役所の放送や連絡を頼りにしています。

東日本大震災当日の震災発生時刻に、妻を老人ホーム(市内・日秀)に入所させて入所手続き中であつたが、帰路に電車が動かず困惑した。(妻は一昨年死亡)。昨年の大雨の時は、困ったことは全く無かった。

避難勧告がでていても、いまいち、情報量が少なく、不安だった

昨年の大雨では、情報が欲しいと我孫子市役所のホームページを見ていたが、全く機能していなかったと記憶している。隣の柏市のホームページは状況に応じて情報が更新されており、自治体の対応の差があった。

避難勧告がでていても、いまいち、情報量が少なく、不安だった

※次ページは紙の記述のスキャンPDFです。